



### 『「みんな違ってみんないい」のか? 相対主義と普遍主義の問題』

山口裕之/著  
筑摩書房

社会で正しいと言われることは、どのようにして決まるのでしょうか。何が正しいかわからないときは、どうすれば良いのでしょうか。自分で考える力がつく一冊です。



### 『ちくまQボックス きみの体は何者か なぜ思い通りにならないのか?』

伊藤亜紗/著  
筑摩書房

「生きる」とは「思い通りにならない」物事に直面し続けることかもしれません。「体」も「思い通りにならない」。けれど愛しい自分の体を引き受けて、今日も生きていくためのヒントがあります。



### 『博物館の少女 怪異研究事始め』

富安陽子/著  
偕成社

古物商の父の影響で自然と鑑定眼を身につけたイカル。13歳で両親を亡くし、大阪から東京へ渡った天涯孤独の少女が、運命的な出会いを重ね、上野の博物館で謎の事件に取り組むことに……。



### 『少女と少年と海の物語』

クリス・ヴィック/著 杉田七重/訳  
東京創元社

嵐で遭難し、一人海を漂う少年ビルは、同じく漂流するベルベル人の少女アーヤと出会う。飢え、渇き、暑さ。過酷な状況の中、2人の距離は徐々に縮まっていくが、アーヤには秘密があるようで……。



### 『はなの街オペラ』

森川成美/作 坂本ヒメミ/画  
くもん出版

時は大正。田舎から出てきた娘はなは、奉公先で本人も気づいていなかった才能を見出されます。ハンナと呼ばれるようになった彼女は浅草へ。オペラと、はなのストーリーをお楽しみあれ。



### 『クララとお日さま』

カズオ・イシグロ/著 土屋政雄/訳  
早川書房

主人公のクララはAFと呼ばれる人工知能をもったロボット。「向上処置」という遺伝子編集のため病弱になった女の子ジョジーの友達として買われ、献身的に尽くしながら一緒に暮らす……。



### 『階段ランナー』

吉野万理子/著  
徳間書店

高校生の広夢は、かつての恩師から「JR京駅ビル大階段駆け上がり大会」のメンバーに誘われる。ただメンバーにはそれぞれ事情があって……。階段を思い切り駆け上がるだけなのに、なんて爽快なんだろう!



### 『目で見ることばで話をさせて』

アン・クレア・レゾット/作 横山和江/訳  
岩波書店

舞台はアメリカ・ボストン南東部マーサズ・ヴィンヤード島。かつて、ろう者と聴者が分け隔てなく手話を使い会話していた。物語はフィクションですが、ろう者の視点を感じつつ歴史的背景にも迫る。



### 『自分のミライのを見つけ方 いくつか働きみに伝えたい 『やりたいこと探し』より大切なこと』

児美川孝一郎/著  
旬報社

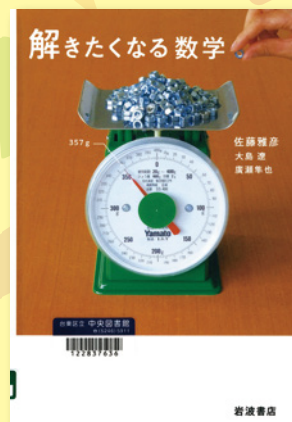
同調圧力VSフツの人生、いい仕事VSやりたいこと、すぐ役に立つことVS学校の勉強。何でもグーグル先生から答えて出てくるのかな? 勉強ってなぜするの? と本にも聞いてみよう。



### 『ダチョウはアホだが役に立つ』

塚本康浩/著  
幻冬舎

鳥類で一番大きな鳥ダチョウ。つぶらな瞳でかわいいのに、なんでアホなのか? 役に立って、何? でも、本当に役に立つんです。ダチョウの驚くべきパワーを知ってみませんか。



### 『解きたくなる数学』

佐藤雅彦、大島遼、廣瀬隼也/著  
岩波書店

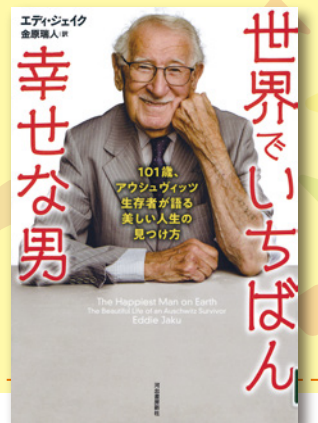
数学が苦手すぎる人でも、なぜだか解いてみたくなっちゃう問題の数々。普段何気なく見ている風景の中に、こんな数学の問題が隠れているのかと思うと、日常風景を見る目も変わります。



### 『さばの缶づめ、宇宙へいく 鯖街道を宇宙へつなげた高校生たち』

小坂康之、林公代/著  
イースト・プレス

さば缶は、どうやって宇宙に旅立っていったのか? さば缶を宇宙食にするという夢を13年間かけてチャレンジ! 福井県立若狭高校の生徒とそれを応援する周りの大人の開発ドラマです。



### 『世界でいちばん幸せな男 101歳、アウシュヴィッツ生存者が語る美しい人生のを見つけ方』

エディ・ジェイク/著 金原瑞人/訳  
河出書房新社

ホロコーストを生き抜き、100歳を超えたエディが語る、自身の人生の物語。凄絶で波乱に満ちた体験から彼が得た、あなたに伝えたいメッセージとは。